

(別紙1)

令和4年度～令和8年度 社会福祉法人杏和会 社会福祉充実計画

1. 基本的事項

法人名	社会福祉法人杏和会やまびこ学園		法人番号	2290805000494				
法人代表者氏名	長森 健							
法人の主たる所在地	北九州市小倉南区大字木下 608							
連絡先	093-451-6262							
地域住民その他の関係者への意見聴取年月日								
公認会計士、税理士等の意見聴取年月日	令和4年5月20日							
評議員会の承認年月日	令和4年6月17日							
会計年度別の社会福祉充実残額の推移 (単位：千円)	残額総額 (令和3年度末現在)	1か年度目 (令和4年度末現在)	2か年度目 (令和5年度末現在)	3か年度目 (令和6年度末現在)	4か年度目 (令和7年度末現在)	5か年度目 (令和8年度末現在)	合計	社会福祉充実事業未充当額
	1,996,490 千円	1,906,490 千円	1,806,490 千円	1,406,490 千円	1,006,490 千円	0 千円		0 千円
うち社会福祉充実事業費(単位：千円)		90,000 千円	100,000 千円	400,000 千円	400,000 千円	1,006,490 千円	1,996,490 千円	
本計画の対象期間	令和4年8月1日～令和9年3月31日							

2. 事業計画

実施時期	事業名	事業種別	既存・新規の別	事業概要	施設整備の有無	事業費
1か年度目	施設建替え	社会福祉事業	既存	築40年経過し、老朽化した施設を建替える。	有り	160,000 千円
	小計					160,000 千円
2か年度目	施設建替え	社会福祉事業	既存	築40年経過し、老朽化した施設を建替える。	有り	170,000 千円
	小計					170,000 千円
3か年度目	施設建替え	社会福祉事業	既存	築40年経過し、老朽化した施設を建替える。	有り	690,000 千円
	小計					690,000 千円
4か年度目	施設建替え	社会福祉事業	既存	築40年経過し、老朽化した施設を建替える。	有り	470,000 千円
	小計					470,000 千円
5か年度目	施設建替え	社会福祉事業	既存	築40年経過し、老朽化した施設を建替える。	有り	1,066,490 千円
	小計					1,066,490 千円
合計						2,556,490 千円

3. 社会福祉充実残額の使途に関する検討結果

検討順	検討結果
① 社会福祉事業及び公益事業（小規模事業）	築 40 年経過し老朽化した施設を、利用者が居心地がよく生活が出来、職員が効率よく働ける導線、光熱水道費が削減できる施設に建替える。
② 地域公益事業	
③ ①及び②以外の公益事業	

4. 資金計画

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	合計	
施設建替え	計画の実施期間における事業費合計	160,000 千円	170,000 千円	690,000 千円	470,000 千円	1,066,490 千円	2,556,490 千円	
	財源構成	社会福祉充実残額	90,000 千円	100,000 千円	400,000 千円	400,000 千円	1,006,490 千円	1,996,490 千円
		補助金						
		借入金			220,000 千円			220,000 千円
		事業収益	70,000 千円	70,000 千円	70,000 千円	70,000 千円	60,000 千円	340,000 千円
		その他						

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「資金計画」を作成すること。

5. 事業の詳細

事業名	施設建替え事業
主な対象者	利用者
想定される対象者数	7,300 人
事業の実施地域	北九州市小倉南区大字木下
事業の実施時期	令和 4 年 8 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日

<p style="text-align: center;">事業内容</p>	<p>築 40 年が経過し、建物の老朽化に伴い、必要な土地の取得並びに建物の建て替えを実施。入所者へのストレス軽減を考え、新たに土地、建物を取得し、新施設への移動を行う。</p> <p>医療の充実性を図るため、検査医療機器の導入、感染予防等を配慮したスペース、導線の確保。また、入所者の障害特性に応じた居室スペースの拡充や生活空間の拡大を行い、日常生活を快適に過ごしていただける環境の設定。さらにレスパイト目的とした生活介護、短期入所等のご家族が安心して預けることができ、また職員が働きやすい環境をつくり、業務効率化を図る。エネルギーの使用量削減やエネルギー利用に伴う環境負荷削減を通じた環境保護、経営管理や安全保障の観点におけるエネルギーリスクの低減、水道光熱費のコスト軽減を図る。地域特性を踏まえ、災害時リスクへの対応を考え、入所者、職員の安全の確保、また、地域の方々の避難場所等に使用できる様に親しみやすく開放的な施設を目指す。</p>	
<p style="text-align: center;">事業の実施スケジュール</p>	<p>1 か年度 目</p>	<p>土地買収、他施設見学。</p>
	<p>2 か年度 目</p>	<p>地域住民への説明。 土地買収、他施設見学、設計打合せ。</p>
	<p>3 か年度 目</p>	<p>他施設見学、設計打合せ、設計、建設業者選択（入札）。</p>
	<p>4 か年度 目</p>	<p>建築。</p>
	<p>5 か年度 目</p>	<p>建築。</p>

事業費積算 (概算)	2,556,490 千円	
	内訳	
	土地	200,000 千円
	建築	2,000,000 千円
	解体	100,000 千円
	引越	10,000 千円
	什器・備品	246,490 千円
	合計	2,556,490 千円 (うち社会福祉充実残額充当額 1,996,490 千円)
地域協議会等の意見と その反映状況		

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「事業の詳細」を作成すること。

6. 社会福祉充実残額の全額を活用しない又は計画の実施期間が5か年度を超える理由

取得予定の土地は地権者が複数いて併せて交渉を進めているため調整に予想以上の時間を要している。

また、土地の地目が田であり開発対象の土地にするために更に時間を要する可能性がでてきた。

入所している利用者さん、これから入所される利用者さんのストレス軽減に配慮しながら医療・福祉のサービスを向上させるため既存建物以上のものを建築し、万全の準備を整えて利用者さんの移動を考えている。

